

# 地域連携教育研究

第5号

2020年3月

京都大学

学際融合教育研究推進センター

地域連携教育研究推進ユニット

# 目次

## 研究報告

市民への食品ロスに係る情報提供と対話

- 専門家と一般市民との意識の乖離を軽減するために—
- 高橋 克 忠 … 1  
依 田 紀 久  
西 井 成 樹  
日 佐 和 夫  
三 宅 眞 実

## 論文

米国連邦教育政策におけるエビデンス要求の現在

- 全ての生徒が成功する法における 4 つのエビデンスの階層—
- 桐 村 豪 文 … 14

ハウレンソウ内硝酸イオン濃度の低減に対する竹パウダーの効果

- 高 野 拓 樹 … 27

IP アドレス範囲計算の納得し易い説明法の開発

- 軽微なネットワーク障害の非専門家による対応を目的として—
- 臼 井 義比古 … 40

学校の自律性と義務教育行政制度の実態

- 日・英・米の国際比較—
- 島 田 健太郎 … 53

制度から見た「幼保一元化」政策の比較研究

- 台湾の幼稚園と日本の認定こども園の位置付けと役割に焦点をあてて—
- 廖 于 晴 … 66  
門 松 愛

生涯学習事業の継続における地方行政の役割

- 京都市「ラボール学園」を事例に—
- 奥 村 旅 人 … 84

モンゴルにおける大学教授職に関する研究

- NUM の教員の意識調査を中心に—
- ジャルガルサイハン・ジャルガルマー … 97

特色ある高校に向けた普通科の中堅校の実態と課題

- 校長への聞き取り調査の分析を通して—
- 吉 永 貴 宏 … 110

地方都市における高校生の地域への愛着・U ターン意識・学力の 3 関係

- X 地域の地方創生戦略における高校生の意識調査—
- 北 山 大 地 … 122

## 研究ノート

「質的測定シート」を活用した教員研修ワークショップの試行的実践	服部 憲 児 … 135
私立 H 高校の英語教育改革実践 2 年目 —「英表文法」クラスから「英語表現」へ—	湯川 笑 子 … 142
新しい社会 (Society5.0) を創造する学校教育に関する考察	鳩山 文 雄 … 149
中山間地における地域連携の取組と課題 —静岡県立川根高等学校と川根本町を事例として—	新林 章 輝 … 156
学校と地域の連携を通じた「地域を支える人材」育成に関する予備的検討 —北近畿地域における高校生を対象とした調査データによる若者の地域志向性の分析—	江上 直 樹 … 163
彙報 .....	170
投稿規定 .....	173

## 『地域連携教育研究』第5号投稿規定

年報『地域連携教育研究』編集委員会

### 《編集規定》

1. 本誌は京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの機関誌として、原則として毎年度発行する。
2. 本誌には、「研究論文」、「研究ノート」のほか、本ユニットの実践活動に関する記事等を編集掲載する。
3. 「研究論文」は、学術論文としての水準を満たすものとする。「研究ノート」は、「研究論文」に馴染まない「実践報告」「文献紹介」「海外の事例紹介」「時事評論」等を内容とする。
4. 本誌の編集のために編集委員会をおく。
5. 本誌に論文等の掲載を希望する者は、所定の論文投稿規定に従い、原稿を編集委員会に送付するものとする。
6. 投稿された論文等の掲載は、レフェリーによる査読を経て編集委員会が決定する。
7. 掲載される論文等について、編集委員会は若干の変更を加えることができる。ただし、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は本ユニットに帰属するが、執筆者が自己の著作物を利用する場合には、本ユニットの許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。
9. 論文等の印刷に関して特別の費用を必要とする場合は、執筆者の負担とすることがある。

### 《投稿規定》

『地域連携教育研究』への投稿者は、次の規定に従う。

1. 投稿者は、(1) 京都大学大学院教育学研究科比較教育政策学講座の構成員（教授、准教授、講師、助教、大学院生および研究生）、(2) 京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの構成員（教授、准教授、特定教員、特任教員および研究員）、(3) (1) または (2) に該当する者以外で、編集委員会が特に委嘱または承認する者。
2. 「研究論文」は単著論文と共著論文を選択することができる。「研究ノート」は単著のみとする。
3. 第一執筆者としての投稿は、論文、研究ノートそれぞれ1本のみを上限とする。例外として、他の者を第一執筆者とし、第二執筆者以下で執筆する場合は、論文、研究ノートを問わず2本目の参加が認められる。ただし、その場合も2本を超えて執筆することはできない。
4. 「研究論文」および「研究ノート」は未発表のものに限る。ただし、口頭での発表およびその配布資料については、その限りではない。

5. 投稿者は、論文原稿の執筆に当たり、次の規定に従う。
- (1) 論文原稿は横書きとし、ワープロソフト（Word または一太郎）で作成する。
  - (2) 表題、副題、執筆者名、本文、見出し、図、表、注、引用文献を含めて、単著論文の場合は 12 頁以内、共著論文の場合は 24 頁以内、研究ノートの場合は 6 頁以内とする。
  - (3) ページ設定を、余白「上 30 ミリ、下 25 ミリ、左 25 ミリ、右 25 ミリ」、46 字×37 行とすること。
  - (4) 表題、副題、氏名に 7 行をとり、本文は 8 行目から始める。
  - (5) 表題は中央寄せ、明朝体 14 ポイント、副題は中央寄せ、明朝体 12 ポイント、執筆者名は右寄せ、明朝体 12 ポイント、本文は両端揃え、明朝体（和文）または Century（欧文及び算用数字）10.5 ポイントとする。見出し、図、表、注、引用文献に関する書式は任意とする。ただし、図及び表は、(3)の余白指定に従うこと。
6. 投稿者は、論文原稿等の提出にあたり、次の規定に従う。
- (1) エントリーの締め切りは、2019 年 12 月 31 日（火）17 時とする。共著論文の場合は、第一執筆者が代表してエントリーシートを提出すること。
  - (2) 論文原稿等の提出締め切りは、2020 年 2 月 10 日（月）17 時とする。提出物には以下の 4 点が含まれる。①論文原稿、②英語による論文題目、執筆者名及び所属、③英文要旨（46 字×18 行）④英文要旨を日本語に訳したもの。
  - (3) 論文原稿は、執筆者に関する情報の匿名化を行った上で、期日までに年報編集委員会（unitnenpo@gmail.com）にメール添付の PDF 形式で提出する。

『地域連携教育研究』第5号 編集委員会

編集委員長

高見 茂 (京都光華女子大学 学長  
／京都大学地域連携教育研究ユニット 特任教授)

編集委員

杉本 均 (京都大学大学院教育学研究科 教授)  
南部 広孝 (京都大学大学院教育学研究科 教授)  
服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

編集幹事

西川 潤 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程)

英文校閲

井上 幸 (通訳・翻訳)

## 執筆者紹介

- 高橋 克忠 (けいはんな文化学術協会理事長／大阪府立大学名誉教授)  
依田 紀久 (国立国会図書館 関西館)  
西井 成樹 (ファルコバイオシステムズ)  
日佐 和夫 (全国スーパーマーケット協会)  
三宅 眞実 (日本食品微生物学会)  
桐村 豪文 (弘前大学教育学部 講師)  
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任准教授)  
高野 拓樹 (京都光華女子大学 キャリア形成学部 准教授)  
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任准教授)  
臼井義比古 (富山情報ビジネス専門学校非常勤講師 非常勤講師)  
島田健太郎 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任助教)  
廖 于晴 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任助教)  
門松 愛 (名古屋女子大学文学部 講師)  
奥村 旅人 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程)  
ジャルガルサイハン・ジャルガルマー  
(京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程)  
／日本学術振興会特別研究員)  
吉永 貴宏 (京都大学教育学部 研究生)  
北山 大地 (京都大学教育学部 研究生)  
服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)  
湯川 笑子 (立命館大学文学部 教授)  
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授)  
鳩山 文雄 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授)  
新林 章輝 (静岡県立川根高等学校 副校長)  
江上 直樹 (福知山公立大学地域経営学部 助教)  
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任講師)

地域連携教育研究 第5号

(非売品)

2020年3月31日 印刷

2020年3月31日 発行

編集・印刷

京都大学大学院教育学研究科  
学際融合教育研究推進センター  
地域連携教育研究推進ユニット  
京都市左京区吉田本町（〒606-8501）  
TEL 075-753-3014

印 刷

株式会社 太洋堂  
京都市右京区西院上花田町4  
（〒615-0007）  
TEL 075-323-9329  
FAX 075-322-4576  
E-mail: rms@love.co.jp



# Journal of Education and Research for Regional Alliances

Vol. 5

## CONTENTS

---

### Research Report

Provision of Information and Dialogue on Food Loss to Citizens:

- Efforts to Bridge the Gap between Professionals and Ordinary Citizens Katsutada TAKAHASHI .. 1  
and others

### Article

Current State of "Evidence-Based" Policy in the United States in Education:

- The Four Tiers of Evidence in the Every Student Succeeds Act Takafumi KIRIMURA ..... 14
- Effect of Bamboo Powder on the Reduction of Nitrate Ion Content in Spinach Hiroki TAKANO ..... 27
- Development of the Explanation Methods of Understandable Netmask Calculation:  
Approach for Non-IT Specialists to Handle Minor Network Troubles  
Yoshihiko USUI ..... 40
- The Situation of School Autonomy in Administration of Compulsory Education:  
International Comparison between Japan, the United Kingdom, and the United States  
Kentaro SHIMADA ..... 53
- Comparative Study of the Unification of Kindergarten and Nursery Schools Policy from the perspective of  
the Institution – Focusing on the role of Taiwanese “Kindergartens” and Japanese “Certified Centers  
for Early Childhood Education and Care” –  
Yu-Ching LIAO ..... 66  
Ai KADOMATSU
- The Role of Local Administration for Maintaining Lifelong-Educational Opportunities:  
The Case of “Labor Gakuen” in Kyoto City Takahito OKUMURA ..... 84
- Research of the Academic Profession in Mongolia - Focus on NUM Teachers' Consciousness Investigation  
JARGALSAIKHAN Jargalma ..... 97
- Clarifying the Current Situation and Issues to Provide Characteristic Education in Ordinary High Schools:  
Through Analysis of Interviews with the Principal Takahiro YOSHINAGA ..... 110
- The Relationship between Attachment to Their Hometown, Intention of U-turn, and Academic Ability of  
High School Students in Provincial Cities: Consciousness Survey of High School Students on Strategy  
for Regional Revitalization in X Area Daichi KITAYAMA ..... 122

### Notes

- Analysis of a Teacher Training Program Using “Qualitative Measurement Sheets”  
Kenji HATTORI ..... 135
- The Second Year of the English Education Reform in H Private Senior High School:  
From “Grammar” to “English Expression” Emiko YUKAWA ..... 142
- A Study on School Education to Create a New Society: “Society5.0” Fumio HATOYAMA ..... 149
- An Approach and Problem of the Regional Alliances in Hilly and Mountainous Areas:  
An Example of Shizuoka Prefectural Kawane High School and Kawane Honcho  
Akiteru SHIMBAYASHI .... 156
- Preliminary Study on the Development of “Human Resources Supporting Communities” through  
Cooperation between Schools and Communities: Using Survey Data for High School Students in the  
Northern Kansai Region Naoki EGAMI ..... 163

### Miscellaneous

---

Center for the Promotion of Interdisciplinary Education and Research

Education and Research Unit for Regional Alliances

Kyoto University

April 2020